

## 4 啓発資料

### (1) 視聴覚教材一覧 (VHS・16ミリ)

#### —見る・知る・考える—

No.	資料名	時間	規格
1	偏見の構図	30分	VHS
2	日本の歴史と部落問題(全3巻)	60分	VHS
3	幸福はいちばんあとから	54分	VHS
4	新ちゃんがないた (障害者問題)	36分	VHS
5	直子のブローチ	23分	VHS
6	とべないホテル(アニメ)	20分	VHS
7	わすれるもんか!(アニメ)	40分	VHS
8	未来からのメッセージ(アニメ)	25分	VHS
9	ふたりのタロウ(アニメ)	26分	VHS
10	さわやかに風吹く町	55分	VHS
11	ゆかりの鍵	54分	VHS
12	くもりのち晴れ(アニメ)	40分	VHS
13	こんど逢うとき	55分	VHS
14	私たちと人権 —赤ちゃんのささやき—	31分	VHS
15	紫陽花のころ	30分	VHS
16	「人権教育のための国連10年」 と同和教育	55分	VHS
17	ふれあい家族	48分	16ミリ
18	誇り高き男	56分	VHS
19	蛍の舞う町で(アニメ)	42分	VHS
20	雲が晴れた日	53分	VHS
21	風のひびき	54分	VHS
22	風かよう道	35分	VHS

No.	資料名	時間	規格
23	おはようの音が響く街に	35分	VHS
24	風と大地と梨の木と ～第3章 老いのいきさき～	54分	VHS
25	トモダチ	31分	VHS
26	夢、空高く(アニメ)	41分	VHS
27	残された日記	56分	VHS
28	夢の約束	53分	VHS
29	元気をありがとう	53分	VHS
30	私のない私～同調と傍観～	30分	VHS
31	善良な人々	56分	VHS
32	もう一度あの浜辺へ	38分	VHS
33	ぬくもりの彩	36分	VHS
34	仮免許練習中	30分	VHS
35	バースデーレストラン	30分	VHS
36	旅立ちの日に(アニメ)	40分	VHS
37	私の好きなまち	35分	VHS
38	紡ぎだす未来	35分	VHS
39	人権を行動する	25分	VHS
44	今でも部落差別は あるのですか?	38分	VHS
45	人権感覚のアンテナって?	39分	VHS
46	そっとしておけば… 寝た子を起すなという考え方	36分	VHS
47	差別っていったい何やねん —歩く水平社宣言・川口泰司—	30分	VHS



## (2) 視聴覚教材一覧 (DVD)

No.	資料名	内容	時間 規格 購入年
40	青春のヒューマンステージ	さまざまな人権問題の固有の経緯や課題を踏まえ、その根底にある共通の差別構造を見極めることを通し、豊かな人権感覚を身に付けることをねらいとしています。	31分 DVD 平成20年
41	ホームタウン	在日韓国人3世の姿を通して、名前や国籍の違いを認め合い、それぞれの生き方・考え方を大切にして相互に理解し合うことの必要性を学び、すべての人の人権が尊重される豊かな社会の実現について考えるきっかけとなります。	54分 DVD 平成20年
42	いま、部落を語る若者たち	若者たちは等身大の自分を語り、活動を語り、悩みを語ります。部落のマイナスイメージを克服し、等身大のアイデンティティを模索し始めた若者たちの姿を追う中で、部落差別に向き合う手がかりを探します。	27分 DVD 平成20年
43	同級生	部落差別が原因で物別れになってしまった二人の父親が、子どもたちや家族同士のふれあいの中で再び部落差別と向き合いながら友情を取り戻していく姿を描いています。	30分 DVD 平成21年
49	いのち輝くとき	深刻な社会問題となっている虐待。特に、地域社会から孤立している親が現代社会や家庭生活の中で様々なストレスを抱え込み、そのはけ口として抵抗できない子どもへの虐待を行っている場合が増えているのではないのでしょうか。お年寄りの温かい思いやりと励ましで若い夫婦が立ち直っていく、生きていることの素晴らしさと命の尊さを問う作品です。	30分 DVD 平成22年
50	私の中の差別意識 -部落差別問題から考える-	同和問題を通し、人の中に巣食う差別意識への気づきを促していきます。あからさまな部落差別は影を潜めましたが、まだまだ結婚差別や就職差別などは残っているのが現状です。この作品では、差別された人々の心の痛みを伝えつつ、どうすれば差別がなくなるのか考えるきっかけを提供します。そして、自らの差別意識に気づき、正しい知識や判断力を持つことの大切さを伝えます。	24分 DVD 平成23年
51	人権のヒント 地域編 「思い込み」から 「思いやり」へ	人権という、なんだか難しいことと思いがちです。しかし、私たちの日常生活のいろいろな場面に「人権のヒント」は隠されています。この教材は、街の喫茶店「カフェ・ヒューマンライツ」のママのところ、さまざまな思いをいただいた人々が集まってくる。その交流の中から、「人権のヒント」を考え、それぞれの違いを、思いやる心の大切さを理解していく内容になっています。	25分 DVD 平成23年
52	夫婦で差別と闘います!	結婚して3年。部落出身の妻と部落外の夫は講演活動を始めた。異なる立場からの二人の講演は部落差別の実態を重層的に暴いていく。二人の結婚を祝福した人や応援した人、そして、悩んだ親たち…。赤裸々に語られる差別心とは?結婚差別の実体験にも二人は踏み込んでいく。差別は人と人とのつながりだけでなく、自分の可能性も断ち切ってしまう。そんな思いをもつ高校生たちが企画した交流集会で、二人は語った。	30分 DVD 平成23年



No.	資料名	内容	時間規格 購入年
53	親愛なる、あなたへ	仕事一筋に生きてきた小野寺弘務の定年退職を目前に、妻の陽子が脳梗塞で急死。陽子は地域のボランティア活動をしていたが、弘務は全く無関心だった。陽子の死後、弘務は陽子の日頃の様子や地域を知らなかったことを痛感し、地域を見つめ直していく。数日後、陽子の手紙を受け取り、その手紙を読むのだが…。一人の男性の「気づき」と「再生」を描いたドラマ。無関心、無理解という冷たい壁を破り、温かい相互支援を進めることの大切さを伝えています。	37分 DVD 平成23年
54	たんばい探梅 春、遠からじ (アニメ)	夫の故郷である北九州市に越してきた亜紀。東京育ちの亜紀にとって、地域の世話好きな邦子は苦手な存在だった。ある日、愛猫が失踪し、邦子に助けを求める。愛猫を助けたのは町内で孤立している波岡だった。波岡との出会いと福祉協力員としての活動を通して、亜紀は人がつながる温かさを感じていく。人と人のつながりや「包み込む社会」の大切さについて描かれた作品。	40分 DVD 平成24年
55	同和問題と人権 —あなたは どう考えますか— (アニメ)	会社でセクハラなどの人権問題を担当する大月友一が、休日、家族と帰郷する道すがら、故郷の話がきっかけとなり、みんなで同和問題について話し合うことになった。部落差別、同和問題についての考えは様々で、父母の体験も聞き知識を深めることにした。この作品は、同和問題について正しく理解し、解決するにはどうすればよいのかを考えるアニメーション作品。	28分 DVD 平成24年
56	ほんとの空	弓枝の一人息子の輝は空オタクで友だちがいない。ある日、輝がマンションの屋上で同じ年頃の龍太に出会い、二人は意気投合する。輝は龍太を家に招き夕食をとる。後日、龍太の母から福島の草木染めの布をお礼にもらうが、放射能への恐ろしさから布を捨ててしまう。そして、それを龍太がゴミ置き場で発見し…。同和問題や原発事故に伴う風評被害を取り上げ、これらに共通する「偏見」という意識を課題としそれに「気づく」こと「我がこと」として捉えることをねらいとしています。	36分 DVD 平成25年
57	しごとのいみ (3編収録)	障害のある人、三人三様の「しごと」にまつわる3つのストーリーを収めたDVD。「働いて給料をたくさんもらいたい」「仕事を通じて社会のために貢献したい」こうした思いは、障害のある人も無い人も同じはず。この作品で伝えたいのは、「障害の有無にかかわらず、人にとって働くことの意味を考えたい」ということ。障害のある人たちの働く場である「宮城県・蔵王すずしろ」「京都府・ほのぼの屋」「東京都・パイ焼き窯」の一人の障害のある人にスポットをあてたドキュメンタリー。	30分 42分 39分 DVD 平成25年
58	秋桜の咲く日	特別養護老人ホーム「向陽園」の主任介護士として働くちひろは、新人介護士、直也の空気の読めない発言や指示が伝わらないことにストレスを感じてしまう。ある日、直也が入居者の乾を連れて外出し、そこで乾が倒れて意識不明になってしまう。病院に駆けつけたちひろは、パニックを起こした直也に、介護士失格だと激しく叱責する。翌日から直也は欠勤し、直也の母からアスペルガー症候群だと告げられ…。このドラマは発達障害のある人の生きづらさや痛みを描くとともに、周囲の人の正しい理解や配慮が必要だということを伝えています。	34分 DVD 平成26年



No.	資料名	内容	時間 規格 購入年
59	結婚差別 400 事例	「通婚率 90%以上」そんな統計から、部落差別は解消したかのような認識が広がっています。弘瀬喜代さんは、その数字の奥にある厳しく悲しい現実を強く訴え、「自らの問題として考えて欲しい…」と参加者の心に熱く語りかけます。弘瀬さんの相談員としての経験から語られる差別の現実を講演会の様子を通して伝えています。	30 分 DVD 平成 26 年
60	イマジネーション imagination 想う つながる 一歩ふみだす	ラジオ番組でパーソナリティを務めるサヤカの元に、今夜もリスナーからの相談の便りが届きます。悩みを抱えている人々がラジオ番組を通じて、明日へとつながる一歩を見つけていくドラマです。 ・いじめをなくすのはアナタ（子どもの人権） ・「関わらないのが一番」それは本当？（同和問題） ・見えにくいから知ってほしい、発達障害のこと（障害者の人権）	34 分 DVD 平成 26 年
61	あなたに伝えたいこと	インターネットには、利便性と共に差別的な書き込みやネット依存など影の部分もあります。この物語の主人公は、結婚話を発端に、恋人や友人、家族などとの関わりから同和問題が身近な問題であることを知ります。彼女の結婚話を中心に、恋人や友人、家族などの関わりを通して、ネット上の情報だけでなく、実際に人とふれあう中でお互いを正しく知りあうことが、同和問題をはじめとする全ての差別をなくしていくために重要であることを、明るい希望とともに伝えます。	36 分 DVD 平成 27 年
62	桃香の自由帳	核家族化や都市化が進む中で、人々の地域などへの意識が大きく変わり、互いにふれあい、支え合うことが少なくなってきています。同じ地域に暮らしていても、名前も知らず相手を誤解して排除したりするなど、気づかないうちに「人とのつながり」を自ら断ってしまうことがあります。この物語では、主人公の桃香の視点を通して、どの地域でも起こりうる出来事に光を当てています。日常の何気ない言動を振り返ることで、現代を生きる私たちが見失いつつある、人と人とが寄り添い、共に生きるあたたかな世界とは何かについて語りかけます。	36 分 DVD 平成 27 年
63	ここから歩き始める	この作品は、「認知症と共に生きる」というテーマで、高齢者の問題を人の幸せと尊厳を守るという人権の視点からとらえます。認知症の親を持つ主人公とその家族の中で繰り広げられる介護をめぐる葛藤と絆の紡ぎ直しを描くことで、高齢者が人として誇りを持って生きていくうえで大切なことを、家族や地域の視点を通して考えるきっかけとなるドラマ教材です。	34 分 DVD 平成 28 年
64	家庭の中の人権 ～生まれる子へ～	このドラマでは「家庭の中の人権」に目を向け、祖父母と孫夫婦の会話を通して、私たちの身の回りにある人権問題をクローズアップしました。家庭の中で、人権の尊さについて語りあい、伝えていくことは、すべての「いのち」を大切にすることでもあります。気づくこと、そして、行動することの大切さを描きます。	25 分 DVD 平成 28 年



No.	資料名	内容	時間 規格 購入年
65	風の匂い	平成 28 年 4 月に施行された「障害者差別解消法」では、「不当な差別的取扱い」を禁止し、「合理的配慮の提供」を求めています。社会の中にあるバリアは物理的な問題だけではなく、障害のある人への差別意識や知識不足からも生まれています。この作品は、スーパーマーケットで働く二人の青年が主人公です。その一人は知的障害があるが、子どもの頃は共に遊び、共に学ぶ「大切な友達」でした。しかし、大人になった二人を隔てる健全者と障害者という壁。二人の成長と職場での人間模様を通して、社会的な課題でもある「合理的配慮」についても考えます。	34 分 DVD 平成 29 年
66	わっかカフェへようこそ ～ココロまじわる ヨリドコロ～	あなたには「心のよりどころ」がありますか？忙しい日常に追われて誰かと「心を交流する」ことをおろそかにしていませんか？町の路地にたたずむこの小さなカフェにはいろいろな人が訪れ、駿と桜が出迎えます。ここは、ココロまじわるヨリドコロようこそわっかカフェへ。 ・三色団子の向こう側（ネット上の人権侵害） ・世代をつなぐ柏餅（高齢者の人権） ・コンペイトウの来た道（外国人の人権）	35 分 DVD 平成 29 年
67	光射す空へ (アニメ)	平成 28 年 12 月に施行された「部落差別解消推進法」では、今現在も部落差別が残っていること、情報化の進展に伴って差別の現状に変化が生じていることが明記されています。また、まだ十分に認知されていない人権課題として性同一性障害や性的指向における少数派の人々（LGBT）、若年性認知症と診断された人々に対する誤解や偏見もあります。若年性認知症、同和問題、LGBT といった様々な人権課題に焦点を当て、「正しい知識と理解」「多様性の受容と尊重」の大切さを描いたアニメーション作品です。	32 分 (本編) 14 分 (解説) DVD 平成 29 年
68	そんなの気にしない - 同和問題 -	「そんなの気にしない」は、親友に自分が同和地区出身だということを告白したときに返ってきた言葉。告白したほうは、相手にもっと知って欲しかった。告白された方は相手が、そのままの相手でも何も変わらないことを伝えたかった。しかし、その一言がきっかけで二人はすれ違っていきます。プラスのイメージを持っていることに、人は「気にしない」とは言いません。私たちが普段なげなく使う言葉や態度のなかには、相手を傷つけるものがあるかもしれない。	17 分 DVD 平成 30 年
69	お互いの本当が 伝わる時 - 障害者 -	雇用分野に関して改正障害者雇用促進法が、雇用以外の分野に関して障害者差別解消法がそれぞれ施行され、事業者・事業主に対して、障害者に対する「不当な差別的取り扱いの禁止」と「合理的配慮の提供義務」が定められました。しかしながら、障害のある人に対する差別は解消されたとは言えず、また自分が意図せずとも相手を傷つけるケースも少なくありません。「障害のあるなしに関わらず皆で共生していくためにはどうすればいいのか」	24 分 DVD 平成 30 年



No.	資料名	内容	時間 規格 購入年
70	日本国憲法と部落差別	どのような経過を経て憲法が制定されたのかを検証し、その過程で戦後初の男女同権による民主選挙によって選出された国会議員たちが、主体的に憲法制定に取り組んだことを明らかにしました。さらに、平和の基礎となる人権尊重の精神がどのようにして憲法に書き込まれたか、とくに第14条の条文をめぐる論議に注目し、ここに「部落差別の禁止」が明確に記載されたことも明らかにしました。だれひとりとして「差別されない」と明記された「日本国憲法」こそが、真の「解放令」であることを伝え、「差別は黙って見過ごしてはならない」ことを、いま改めて憲法の意義とともに問いかけます。	17分 DVD 令和元年
71	パパは女子高生だった！ ～前田 良～	女性から男性へ性別転換し、結婚、その後二人の子をもつ父親になった前田良(37)。一審、二審で敗訴しながら、最高裁で勝訴、日本で初めて戸籍上で実子と認めさせた。イラストレーターの妻の絵を使った「パパは女子高生だった」が書籍化。当事者やパートナーの思いから、LGBT、性的マイノリティ、多様性について考える教材。	28分 DVD 令和元年
72	サラーマット ～あなたの言葉で～	訪日外国人の増加や、改正出入国管理法の施行など、外国の人々と接する機会が増え、職場や地域でともに生きる時代になっています。一方で、文化、言語、習慣などの「違い」や偏見から外国人が増えることに抵抗を感じている人も少なくありません。「違い」は壁ではなく、自分自身を成長させ、地域を豊かにする源です。異なる文化の人たちを、ともに未来をつくる新しい存在として尊重し、互いに高め合っていく。そんな多文化共生社会の実現をめざす人権啓発ドラマ。	36分 DVD 令和2年
73	知りたいあなたのこと 外見からはわからない障害・ 病気を抱える人	外見からはわからない障害や病気を抱えながら日常生活を送っている人は多くいます。一見すると健康そうに見えるので、障害や病気が周囲に理解されず、辛い思いをすることもあると思います。この作品では、2人の難病患者さんと、てんかんと発達障害をもつ大学生取材しました。どんな場面で困っているのか、どんな配慮が求められているのか。外見からはわからない障害や病気を抱える人の話を通じて、私たちにできる配慮を共に考えてゆく。	21分 DVD 令和2年

	<b>シェアしてみたらわかったこと 46分 令和3年</b>	
74	<p>「シェア」という言葉が最近身近になってきました。「シェア」という言葉は、「共有する」「分け合う」「広める」といった意味で使われています。社会の中で、互いに共有、つまりシェアしながら進んでいく社会は、一人ひとりが生きやすい社会になるのではないのでしょうか。</p> <p>この作品では、「外国人に関する人権」「性自認や性的指向に関する人権」「外から見えにくい障害のある人の人権」「災害時の人権」の4つのテーマを扱い、それぞれの人権について考える人権啓発ドラマです。</p>	DVD
	<b>水平社を立ちあげた人々 17分 令和3年</b>	
75	<p>1922年3月3日、京都の岡崎公会堂に差別されてきた人々が集まり「人間は、差別するものではなく、尊敬すべきものだ」と宣言し、「全国水平社」を結成しました。このDVDでは、日本の人権の歴史を大きく変えた水平社創立の背景や、創立大会の様子、そこに参加した人々の想いを、現地や関係者を訪ねて取材し、明らかにしました。自分たちの力で差別をなくそうと立ち上がった人々の姿から学ぶことにより、「差別」や「いじめ」を根絶するため、いま何をすべきかを問いかける教材です。</p>	DVD
	<b>夕焼け 35分 令和4年</b>	
76	<p>作品のテーマは「ケアラー～だれもが人権尊重される社会を～」です。相手が家族や親しい人であっても、毎日誰かの介護や世話をすることは、身体的、精神的、さらに経済的にも大きな負担がかかります。特にヤングケアラーは、学校に通い、教育を受け、友人と交流を通して成長する重要な時期であるにもかかわらず、その状況が周囲から見過ごされることが多いという問題があります。ケアは他人事ではありません。だれもがケアする側にもケアされる側にもなります。年齢属性を問わず、共に助け合える「誰もが人権尊重される社会」の実現をめざすことを目的とした人権啓発ドラマです。</p>	DVD